

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー : 発達の多様性 ILAS Seminar : Diversity in human development	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Education Associate Professor, AKECHI HIRONORI		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・ Intensive, First semester	Quota (Freshman)	11 (11)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive TBD
Classroom	TBD			Language of instruction	Japanese
Keyword	人間 / 発達 / 障害 / 生物 / 心理				
[Overview and purpose of the course]					
<p>ヒトの発達の多様性やそれに伴う諸問題について扱う。具体的には、以下のことを行う。</p> <p>1．生物一般およびヒトの発達の原理に関する講義を行う。また、発達障害に関する理論や研究の動向についても紹介する。障害の捉え方について議論を行う。</p> <p>2．発達の多様性に関する実践的な問題の1つとして特別支援教育の現場の見学および実践者との議論を行う。</p> <p>3．講義と現場の見学を終えた時点での履修者それぞれの問題意識を授業参加者全体に共有し、全体で議論を行う。</p> <p>これらの活動を通して、発達の多様性に関する諸問題について理解を深めること、履修者それぞれの問題意識を深めることを目的とする。</p>					
[Course objectives]					
ヒトの発達の多様性について科学的に理解すること、また、発達支援などの実践の場での取り組みについて理解すること。					
[Course schedule and contents]					
<p>1．授業の導入、講義（1日目、5月中もしくは6月上旬の土日のうち1日） 京都大学吉田南キャンパスの教室において行う。発達および発達障害の原理や理論に関する講義を行い、障害の捉え方について議論を行う。また、以下の2に際しての注意事項などについても説明を行う。事前に日程調整の上、5月中もしくは6月上旬の土日のうち1日を行うことを予定しているが、日程が合わない場合は2日にわけて行う。</p> <p>2．発達支援・実践の見学、実践者との議論（2日目、6月中旬中の1日） 東京都内の回、京都府内の回、何れか1回に参加すること。こちらも事前に日程調整を行った上で日程を決定する。東京都内の回については、午前9時頃には現地に到着している必要があるため、前日中に移動をしている必要がある可能性がある。</p> <p>3．履修生による問題提起および議論（3日目、6月下旬の土日のうち1日） 京都大学吉田南キャンパス内の教室で行う。各履修者が平素より抱いている問題意識、もしくは、講義の受講や見学・議論を行う中で芽生えた疑問などを授業参加者全体に共有し、議論を行う。日程は事前に調整の上、決定する。</p>					
Continue to ILASセミナー : 発達の多様性(2)					

ILASセミナー : 発達の多様性(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点と議論への参加によって評価する。

[Textbooks]

Not fixed

[Study outside of class (preparation and review)]

日頃から自身の学術的な興味や問いを意識しながら情報に接するようにするとよいと思います。

[Other information (office hours, etc.)]

- 1 . 見学場所までの旅費を自ら支出可能であること。
東京の回は、京都大学から往復約 3 万円、京都の回は、京都大学から往復約500 ~ 2000円程度の予定
- 2 . 学生教育研究災害保険に加入していること。
- 3 . 履修登録期間までに行う日程調整の連絡に必ず返信すること。